



# 板橋区観光振興ビジョン 2025



板橋区





## はじめに

板橋区では、平成 17（2005）年 4月に、板橋区の観光振興を「文化」と「心」を基調とした観光まちづくりと位置づけ、「板橋区観光振興ビジョン」を策定し、観光集客やその受入基盤づくりなどに取り組み、一定の成果をあげてきました。また、一方で、策定から 10 年以上が経過する中、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）の開催決定や、全国的な外国人観光客の増加など、区の観光施策を取り巻く環境は大きく変化しています。

区では、平成 27（2015）年 10月に新たな板橋区基本構想（以下「基本構想」という。）を策定し、平成 28（2016）年度から概ね 10 年後の将来像（「あるべき姿」）を「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と決めました。この将来像を政策分野別に具現化した「9つのまちづくりビジョン」の一つである「光輝く板橋ブランド・産業活力」ビジョンの中では、様々な地域資源の活用と都市交流・観光振興によって地域経済が活性化され、様々な地域課題を解決しているまちを「あるべき姿」としています。

さらに、基本構想の実現に向けて平成 28（2016）年 1月に策定した板橋区基本計画 2025（以下「基本計画」という。）では、2025 年度までの施策の一つとして『もてなしの心』による魅力ある観光振興と都市交流の推進」を掲げ、施策・組織横断的に協働・連携する未来創造戦略を展開することによって、交流人口の増加や都市としての魅力の創造・発信をめざしています。

他方、国や東京都では東京 2020 大会の開催に向けて、あらゆる角度から東京を中心とした観光推進に力を入れています。さらに、国では観光を成長戦略と地方創生の大きな柱と位置づけ、我が国の基幹産業へと成長させることにより観光先進国の実現をめざしています。

こうした状況を踏まえ、板橋区では、区民からは、地域に愛着や誇りを持って住み続けたいと思われ、区外の方からは訪れたい、住んでみたいと思われるまちをめざして、観光分野における方針を示す新たな「板橋区観光振興ビジョン 2025」を策定することとしました。新たな観光振興ビジョンでは、区内の観光資源を調査・整理するとともに、文化・芸術、産業、環境、都市基盤など様々な分野を横断的に結び付けていながら、新たな観光資源や魅力あるコンテンツを創造し、板橋区の魅力を区内はもとより、国内外にも発信していきます。

最後に、今回の策定にあたり多大なるご尽力をいただきました策定検討委員会の委員の皆様をはじめ、各種調査などを通じて貴重なご意見をいただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成 30 年 2 月 板橋区長 **坂本 健**

